

H 町外に出ていく人が多くても町内に残っている人もいるわけだから、残っている人で川俣をいい意味で、変わずに支えていくことも大切だよ。

R そして、もつと川俣高校にも入学してほしいよね。正直なんでも来ないのかなって思うんだけど。

A 就職先だって良いよね。でも何となく、親の世代に、町外、福島市内が当たり前ってイメージがあるような気がするよね。

R 自分が入学して良い学校だったし、イメージを変えて、もつと多くの人が入学する高校に戻ってほしいな。

S なんにせよ子どもがいないと将来にはつながらないから、大々的な子育て支援みたいなことをしていったほしいよね。

最後に川俣町への思いをどうぞ。

H 川俣は目立つものがあつたり認知度が高いわけじゃないけど、

川俣で生まれて本当に良かったと感じています。

小さい頃に、からりこフェス

タや春日神社の祭礼がすごく楽しかった思い出があるの、今、子どもが少なくなってきたけど、私も将来は絶対に川俣に戻ってきて、具体的にこれと

いう考えはまだ無いけど、もつと町に人を呼び込むような取り組みをしていきたいです。

A 川俣は人の心があたたかくて、安心感のあるアットホームな町だと感じています。

小さい頃はからりこフェスタで踊ったり、ロードレースに参加したりと、様々な経験をさせてもらい、川俣町に成長させてもらったという思



いが強いです。私は、あたたかさで包んでくれるような川俣町が好きです。少子化など課題は多いけど、一つひとつ改善していけば、みんな戻ってきてくれるんじゃないかと思います。私が今感じているように、小さな子どもたちが大人になった時、川俣町はあたたかい町だったと感じてもらえるように、私も町を盛り上げていけるような人間になって、川俣町に恩返ししていきたいです。

W 町内でランニングしているところ「がんばって！応援してるよ」と声をかけてもらうことも多くて、川俣町はすごいあたたかい町だなと感じていました。5年前に東日本大震災を経験して、当時はこの先どうなるかわからない

い町だなと感じていました。5年前に東日本大震災を経験して、当時はこの先どうなるかわからない

い町だなと感じていました。5年前に東日本大震災を経験して、当時はこの先どうなるかわからない

い町だなと感じていました。5年前に東日本大震災を経験して、当時はこの先どうなるかわからない

い町だなと感じていました。5年前に東日本大震災を経験して、当時はこの先どうなるかわからない

いなか

田舎のマイナスイメージを払しょくして、 田舎であることを強みにしていくことが大切だと思う。

by 佐藤 三郎

というような状況だったけど、今、5年経って、こうして川俣町として成り立っているし、まだ震災前のようにとはいかないですが、少しずつ戻ってきて、良い方向に向かっていると感じます。

4月から自分はいわき市に住むので、川俣町にいる時間は少なくなりますが、子育て支援の充実など、みんなが川俣町にいたいと思えるような支援が行われることを望みます。自分も、将来、一人前の管理栄養士になった時には、町に機会をいただいて、栄養教室など自分ができることで、町の活性化に携わりたいと思っています。

R 川俣町に20年間住んできて、子どもが少なくて、自分を通していた福沢小学校が廃校になってしまったりもしたけど、小さい場所だからこそ良さもあったと思います。遊ぶ場所がない代わりに、自分たちで考えて遊ぶ力がついた

し、豊かな自然が身近にあった分、豊かな心を持てました。

川俣にはインパクトのあるものが少なくて、知名度が低いので、自分たちの世代でも何かパツとするものを見つけていければと思っています。

S 義理の兄が埼玉県民なのですが、川俣に来た時、よく「こっち(川俣)の方が良いなあ」と言っています。川俣は、都会の人にとっては、ある意味、憧れの田舎のような落ち着く雰囲気がある場所なのだと思います。ただ、何もない田舎であっても快適な生活ができる環境づくりは大切だと思います。

川俣は田舎と言われ、何もないかもしれません。しかし、ある意味、何もないことが都会の人から見たら魅力でもあるのではないかと思います。田舎のマイナスイメージを払しょくして、田舎であることを強みにしていくことが、

これからは大切だと思います。

一同 みんな、やっぱり落ち着く川俣町が大好きなんだよね。新しいことも大事だけど、今ある川俣の良さを大切にしながら、上手に川俣の良さを発信していくことが大切だね！ がんばろう川俣！

ハタチのオモイ おしまい

